Creative Enzymes®

ネイティブ・シュードモナス属カルボキシペプチダーゼG

Cat. No. NATE-0102

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カルボキシペプチダーゼGは、リソソームに存在するチオール依存性プロテアーゼであり、γ-グルタミルペテロイルポリ-γ-グルタミン酸を段階的に切断してペテロイル-α-グルタミン酸（葉酸）と遊離グルタミン酸を生成します。この酵素はγ-グルタミル結合に□して非常に特異的であると考えられていますが、離脱基のC末端アミノ酸には特異的ではありません。1 このホモ二量体の分子量は約90 kDaです。この酵素はZn2+イオンによって活性化されます。
用途	Pseudomonas sp. 由来のカルボキシペプチダーゼ G、または γ-グルタミルヒドロラーゼは、P-450cam (シトクロム m) ヒドロキシル化におけるプチダレドキシンの COOH-末端の役割を評価する研究に使用されました。Pseudomonas sp. 由来のカルボキシペプチダーゼ G は、肺腺癌細胞における NO-cGMP シグナル伝達を介したペメトレキセドの細胞毒性に□する一酸化窒素の影響を調□する研究にも使用されました。
別名	γ-グルタミルヒドロラーゼ; EC 3.4.17.11; 9074-87-7; グルタミン酸カルボキシペプチダーゼ; カルボキシペプチダーゼ G; カルボキシペプチダーゼ G1; カルボキシペプチダーゼ G2; グルタミルカルボキシペプチダーゼ; N-プテロイル-L-グルタミン酸ヒドロラーゼ

製品情報

由来	シュードモナス属
形態	凍結乾燥粉末には酢酸ナトリウム塩が含まれています。
EC番号	EC 3.4.17.11
CAS登□番号	9074-87-7
活性	> 3 ユニット/ mg タンパク質
組成	タンパク質、約70% ビウレット
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.3の条件下で、(+)-アメトホテルから1.0μモルのL-グルタミン酸を1分あたり加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C